

# 受難週からイースターの礼拝

## ◆ 棕櫚の主日礼拝 「今日は昨日のように 明日は今日のように」 赤松 真希

2019年4月14日(日) 午前10時00分~11時15分

## ● 受難週祈祷会Ⅰ・聖水曜日 「イエスから『引き取った』」 柳本 和良

2019年4月17日(水) 午前10時30分~11時30分

## ● 受難週祈祷会Ⅱ・聖餐式・聖木曜日 「最後の晩餐を記念して」 柳本 和良

2019年4月18日(木) 午後7時00分~8時00分

## ● 受難の夕・讚美礼拝 「今さら信じて」 柳本 和良

2019年4月19日(金) 午後7時00分~8時15分

齋藤 まどか (チェロ)、神原 のり子 (オルガン)

♪G.フォーレ エレジーOp.24 より ♪G.フォーレ レクイエムOp.48 より Pie Jesu

♪J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲第2番よりクーラントBWV1008 ♪J.S.バッハ アリオオーソ BWV1056

桑田 信篤 (指揮)、教会聖歌隊 (合唱) ♪G.F.ヘンデル『メサイア』より

## ◆ イースター・復活日礼拝 「馬鹿げたことが起こった」 柳本 和良

2019年4月21日(日) 午前10時00分~11時30分

キリスト教の教会では、毎年この時期を受難節(レント)と呼び、特に最後の週間(受難週)は、救い主イエス・キリストが十字架の死に向かって苦しまれたことを覚えつつ、心改める時を過ごします。そして、救い主の復活を祝うイースターには、「自分たちもまた弱さや悪、罪に縛られたままにはされないのだ」という希望を新たにします。

教会は初めてという方にも、ぜひメッセージや音楽を通して、この時を共に味わっていただきたいと思います。特に「受難の夕・讚美礼拝」では、チェロとオルガンによる演奏、聖歌隊や会衆賛美の中で心を静め、闇の中にあっても希望を見失わないひとときを過ごします。どうぞ、どなたでもお越しください。



### ◀ 受難の夕・讚美礼拝—ゲスト演奏者紹介 ▶

#### 齋藤 まどか (さいとう まどか・チェロ)

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業。チェロを武藤俊介、田中次郎、大木愛一、A.スコッチ、L.フランツェッティ、V.コチの各氏に師事。第11回、第13回共に大阪国際音楽コンクール弦楽器部門 Age-Gにて入選。関西を中心にフリーランス奏者として活動中。KOBE カルテット。音楽工房京の音屋所属。アマビレフィルハーモニー管弦楽団登録団員。

## 日本基督教団 塚口教会

尼崎市南塚口町 2-34-3

(阪急塚口駅南改札より徒歩5分)

TEL:06-6429-3019

E-mail:tsukaguchi-ch@nifty.com

